



なるせダムニュース



平成29年1月 第34号



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

本年も成瀬ダムの事業の推進につきまして、皆様方のご理解とご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



成瀬ダム工事事務所長
町屋 政蔵

さて、昨年は工事面からは、本体工事に支障となる貯水池内伐採を広範囲で進めるとともに、現場内の工所用道路の進捗を大幅に図る事ができました。

また、国道342号の付替につきましては、昨年の7月に残る区間の2号トンネル工事（約1.8km）に着手いたしました。これにより、ダムの試験湛水前までに全線供用することに一定の目処が立ったところであります。

一方、手続き面ではダム型式変更（ロックフィルダム型式から台形CSGダム型式）を含む河川整備計画変更手続きを8月にスタートさせたほか、10月には成瀬ダム本体設計の基本設計会議における了承等、まさにダム本体工事着手に向け大きく前進した1年でした。これを受け、昨年12月の政府予算原案におきまして、平成29年度の成瀬ダム建設事業費が約69.6億円となりました。この額は、平成28年度当初予算に対して1.14倍となり、これにより、確実に本体工事着手に向けての準備を進める事ができます。

この他、今後益々本格化する工事に備え、東成瀬村に建設中の新庁舎には3月に移転する予定です。このことにより連絡調整や対応がスピーディにでき、事業運営を効率的に進めることができると考えております。

我々、成瀬ダム職員一同は、平成36年度完成を一日でも早く実現させ「洪水を防ぎ、水を確保し、人々の暮らしを守る」成瀬ダムの効果が早期に発現できるように、環境面にも十分配慮しつつ、計画的に事業を進めていきたいと考えております。

今後とも、皆様のさらなるご支援・ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

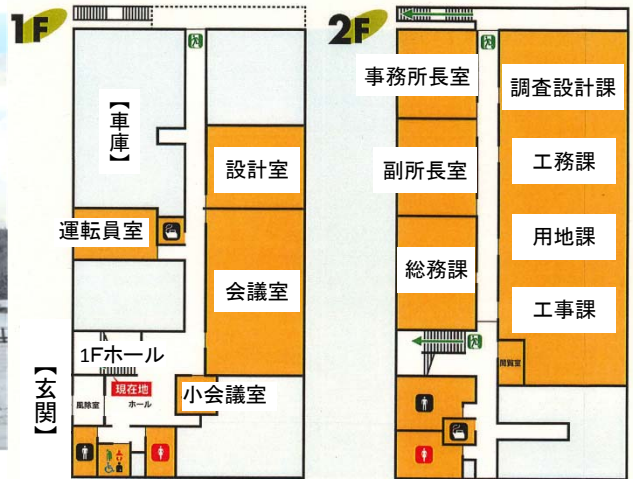
最後に、今年も皆様にとって幸多い年であることを祈念致しまして、新年のご挨拶とします。



～新 庁 舎 完 成～

成瀬ダム工事事務所の新庁舎が完成しました。場所は、東成瀬村田子内地内です。
今号では建物内部を紹介します。

庁舎案内





工事現場だより



●今号では、「成瀬ダム国道付替2号トンネル工事」の現場を紹介します。
成瀬ダム建設に伴い、水没することとなる国道342号の付替道路のうち、2号トンネルの工事を行っています。
平成28年12月31日時点で、トンネル掘削は350m（全延長1,800m）進んでいます。トンネル掘削の施工順序について、実際の現場写真を使ってご紹介します。



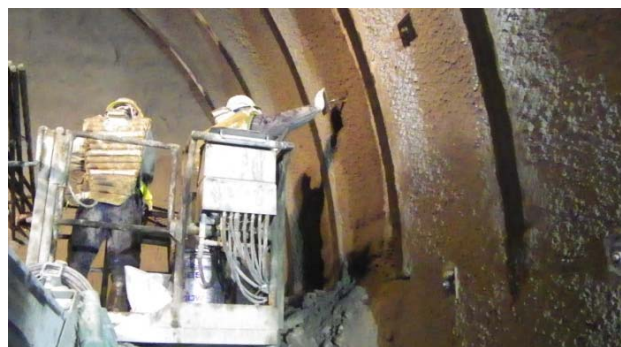
①岩盤に穴を掘って爆薬を入れて発破し、岩を砕きます。
はっば



②発破で砕いた岩を大型ダンプトラックに積み込み、トンネルの外に運びます。
はっば



③腕のついた機械でアーチ型の鋼材を設置して、掘ったトンネルが崩れないように支えます。その後コンクリートを吹き付けて固めます。



④トンネルの周囲に穴を掘って、鉄の棒を挿してモルタルで固定します。トンネルを地山に固定します。

監理技術者より、ひと言。

「成瀬ダム国道付替2号トンネル工事」
施工会社：鹿島建設株式会社

所長（監理技術者）
佐藤 直樹



村内の皆様からご理解ご協力いただきながら、施工を進めております。いよいよ、冬の到来です。除雪を始め、冬季対策をしっかりと行い、「安全安心」な現場運営を心掛けていきます。

豆知識



化粧木

～化粧木（けしょうぎ）とは～
坑口の上に取り付ける飾り木で、坑口付けを行った時に設置します。山の神（女性神）に対する敬意を表しており、工事終了まで飾られます。
※敬虔：神仏などを深くやまいつつむさま。



発行 国土交通省 成瀬ダム工事事務所 調査設計課

〒012-0862 秋田県湯沢市関口字上寺沢64-2

TEL 0183-73-4026（代表） FAX 0183-73-4028

HPアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/narusedam/>

